

A close-up, low-angle shot of a white industrial robotic arm in a factory setting. The arm is positioned diagonally across the frame, with its gripper at the bottom right. The background is dark and filled with blurred industrial equipment and lights, creating a sense of depth and a high-tech atmosphere. The lighting is cool, with blue and white tones.

KANADEN

2024年3月期

決算説明会資料

2024年5月21日

株式会社カナデン 証券コード：8081

アジェンダ 2024年3月期 決算説明会

1. 当社グループの概要
2. 2024年3月期 決算概要
3. 中期経営計画『ES・C2025』の取り組み状況
4. 持続的な企業価値向上に向けて
5. 2025年3月期 業績・配当予想

【ディスクレーマー】

当資料は投資家の参考に資するため、株式会社カナデン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2024年5月21日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

1. 当社グループの概要

会社概要

商号 株式会社カナデン(KANADEN CORPORATION)

創立 1907年 5月15日 (神奈川電気合資会社)

設立 1912年12月18日 (神奈川電気株式会社)

本社 東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟

資本金 5,576百万円

上場市場 東京証券取引所プライム市場<コード:8081>

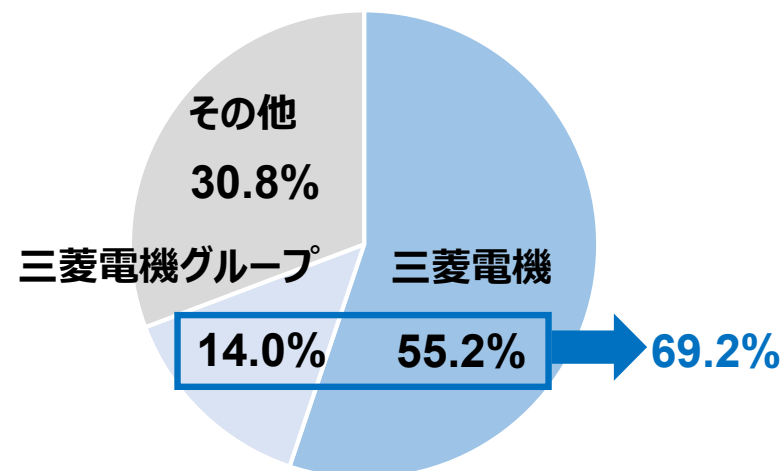
代表者 取締役社長 本橋 伸幸

従業員数 連結880名
単体596名 [2024年3月末]

関係会社 子会社：11社 (国内4社、海外7社)
関連会社：1社
その他関連会社：1社 (三菱電機株式会社)
[2024年3月末]

- 117年を超える歴史を有する
- エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー
- 三菱電機(株)の代理店
(仕入高の69.2%を占める 2024年3月期)
(FA機器、産業メカトロニクス、電子機器、設備機器、空調・冷熱設備、半導体・デバイス 等)
- 顧客数 約2,800社
- 仕入先数 約1,500社

仕入高 構成割合 (2024/3期)



企業理念

KANADEN



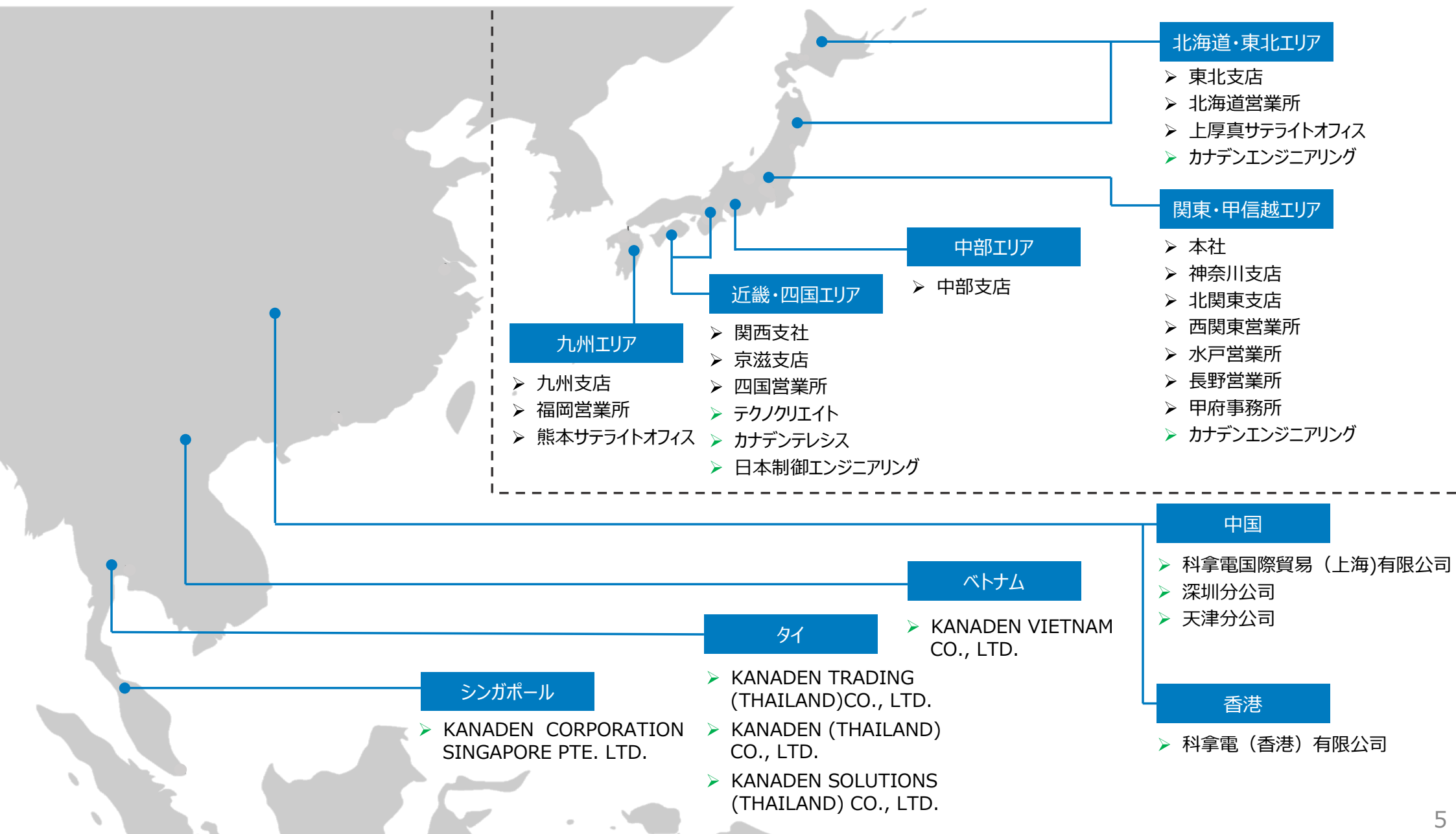
技術と創意で一步先の未来へ導く

カナデングループの技術と創意、
そしてパートナー会社の技術を掛け合わせたソリューションで、
世の中をより良い未来へ導いていく。
それがカナデングループの存在意義です。

Creating New Value for Society

お客さまやパートナー会社、ひいては社会全体のために、
常に新しい価値を創造し続ける集団となる。
それがカナデングループのありたい姿です。

グループネットワーク



事業領域

情通・デバイス事業

情報通信や半導体・デバイス分野で幅広いソリューションを提案

取扱い製品

- ・半導体、電子デバイス
- ・映像、セキュリティソリューションシステム
- ・電子医療装置等



FAシステム事業

工場自動化、生産設備の監視制御等のソリューションでものづくりの進化に貢献

取扱い製品

- ・FA機器
- ・産業システム
- ・加工機等



インフラ事業

安心・安全で便利なくらしを支える社会システムを構築

取扱い製品

- ・交通安全システム
- ・太陽光発電システム
- ・地域防災システム等

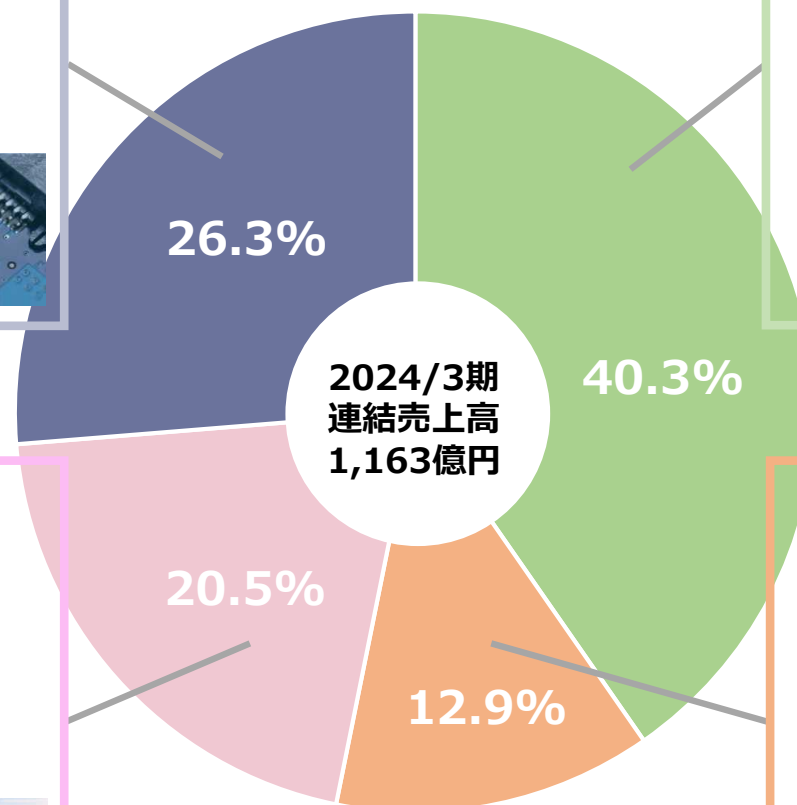


ビル設備事業

ビル全体の設備管理で省エネ・創エネを図るソリューションを推進

取扱い製品

- ・電源装置
- ・空調・冷熱機器等



2. 2024年3月期 決算概要

決算概要（連結）

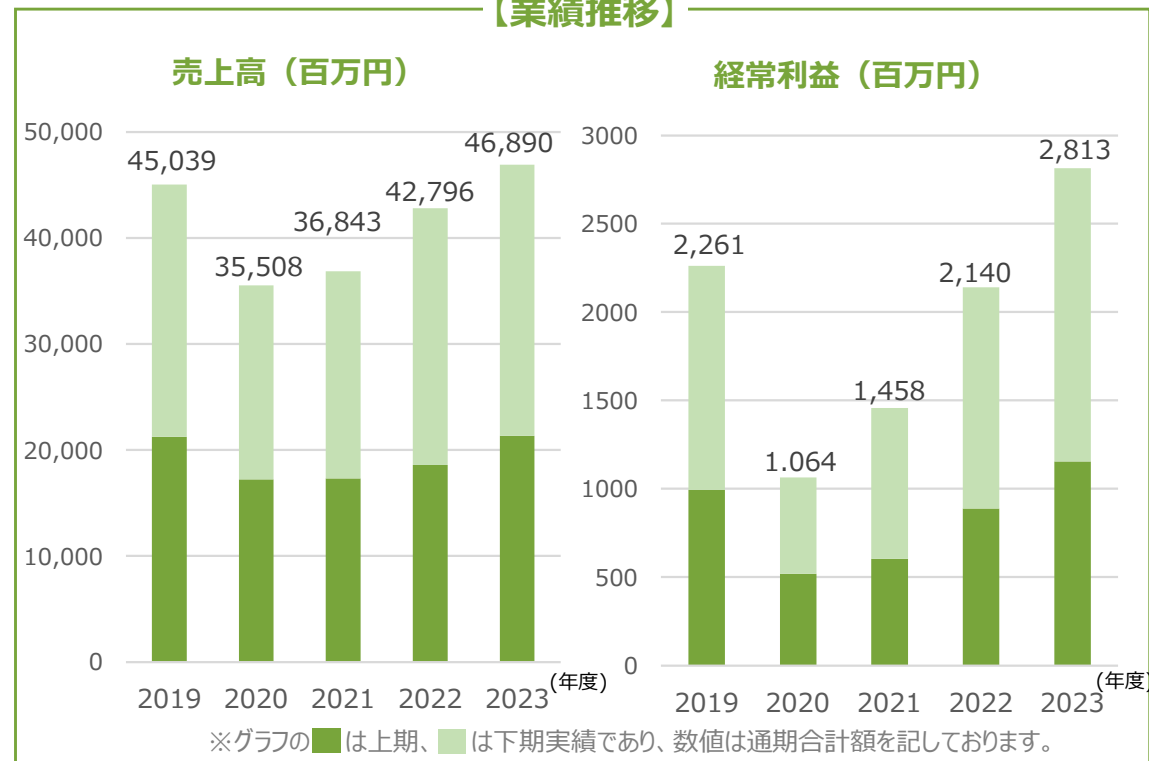
	2022年度 (百万円)	2023年度 (百万円)	増減率 (%)
売上高	106,419	116,271	9.3%
売上総利益 (利益率)	16,233 (15.3%)	17,307 (14.9%)	6.6%
営業利益 (利益率)	3,967 (3.7%)	4,544 (3.9%)	14.5%
経常利益 (利益率)	4,244 (4.0%)	4,994 (4.3%)	17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,896 (2.7%)	3,474 (3.0%)	20.0%

セグメント別の状況 1/4

FAシステム事業

	2022年度 (百万円)	2023年度 (百万円)	増減率 (%)
売上高	42,796	46,890	9.6
FA	30,718	31,836	3.6
産業メカトロニクス	3,794	4,310	13.6
産業システム	8,283	10,743	29.7
経常利益	2,140	2,813	31.4
経常利益率 (%)	5.0	6.0	—

【業績推移】



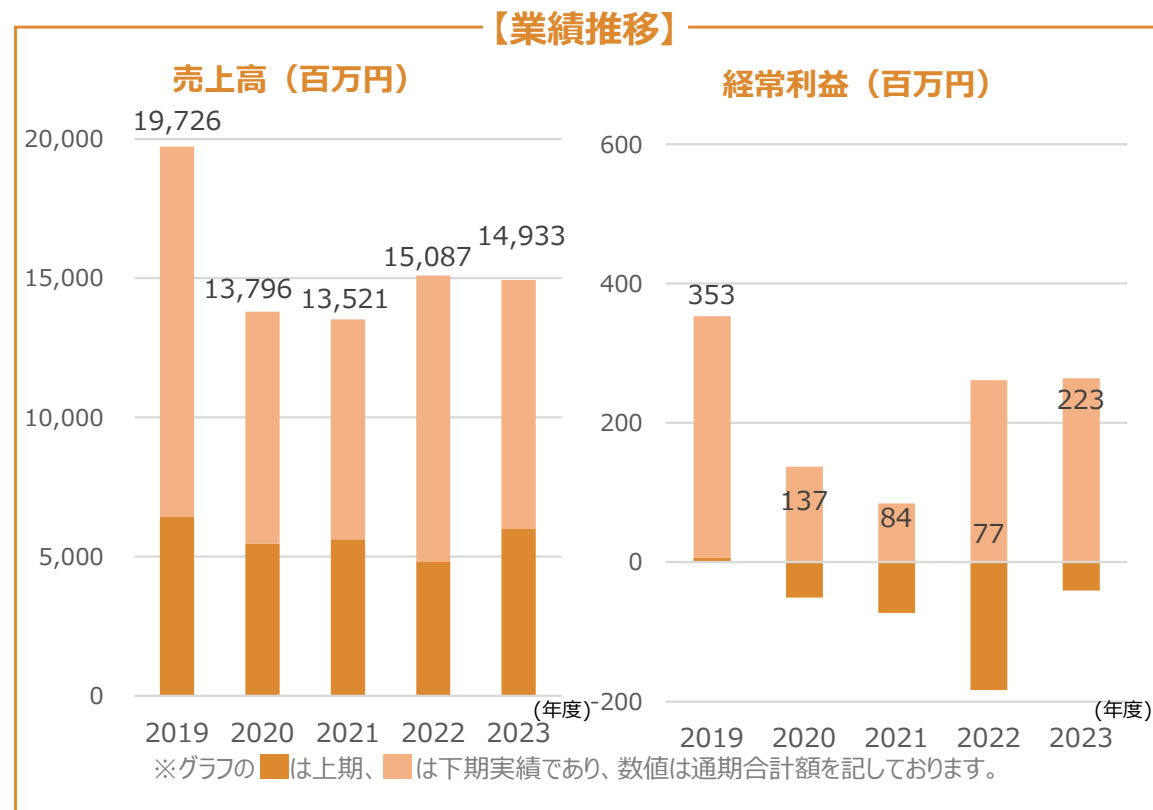
【主なポイント】

- FA分野：半導体不足による納期長期化の改善、製造業の設備投資が回復基調にあり、コントローラーシステムや駆動制御機器が順調に推移し増加
- 産業メカトロニクス分野：放電加工機が案件増加し堅調に推移し増加
- 産業システム分野：化学・繊維・飲料分野顧客向け計装システムが好調に推移し増加

セグメント別の状況 2/4

ビル設備事業

	2022年度 (百万円)	2023年度 (百万円)	増減率 (%)
売上高	15,087	14,933	▲1.0
設備機器	8,503	8,211	▲3.4
空調・冷熱機器	6,583	6,722	2.1
経常利益	77	223	187.0
経常利益率 (%)	0.5	1.5	—



【主なポイント】

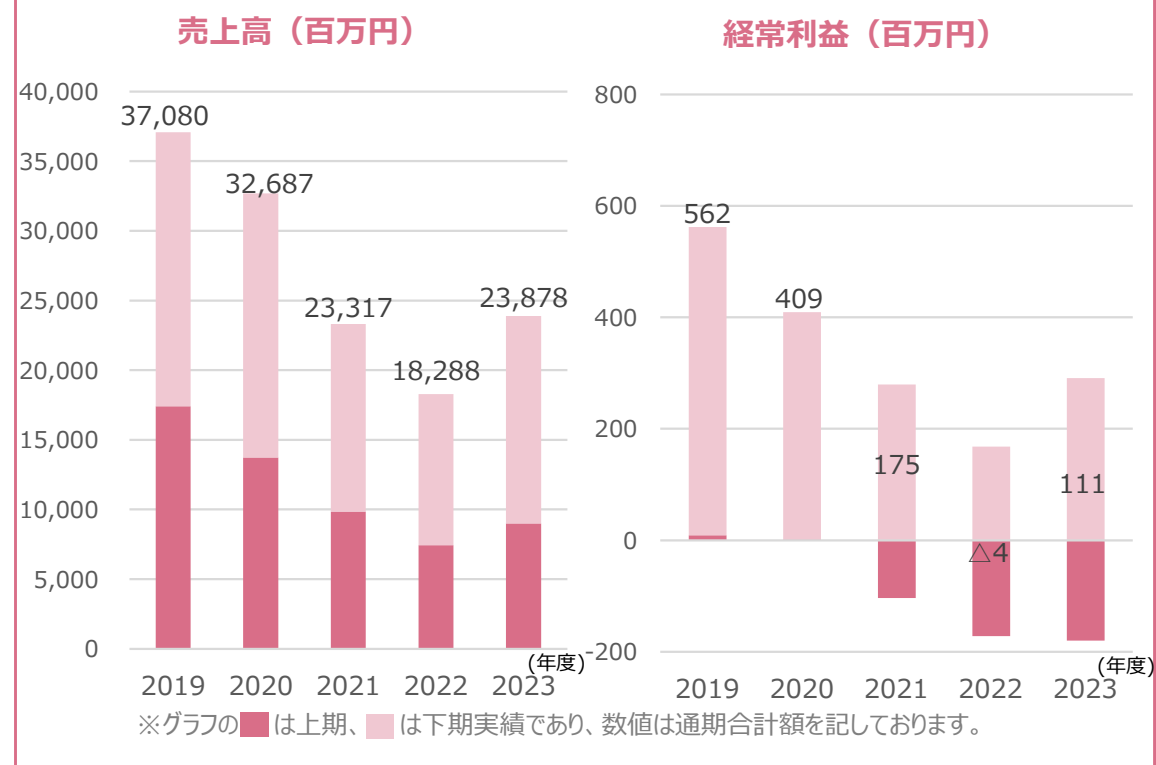
- 設備機器分野：百貨店向け店舗照明案件が堅調に推移したものの、情報・通信事業者向け受変電設備案件が減少し低調に推移
- 空調・冷熱機器分野：店舗の設備投資回復により空調機器、低温機器が順調に推移し増加

セグメント別の状況 3/4

インフラ事業

	2022年度 (百万円)	2023年度 (百万円)	増減率 (%)
売上高	18,288	23,878	30.6
交通	14,831	19,323	30.3
社会システム	3,456	4,555	31.8
経常利益	△4	111	—
経常利益率 (%)	△0.0	0.5	—

【業績推移】



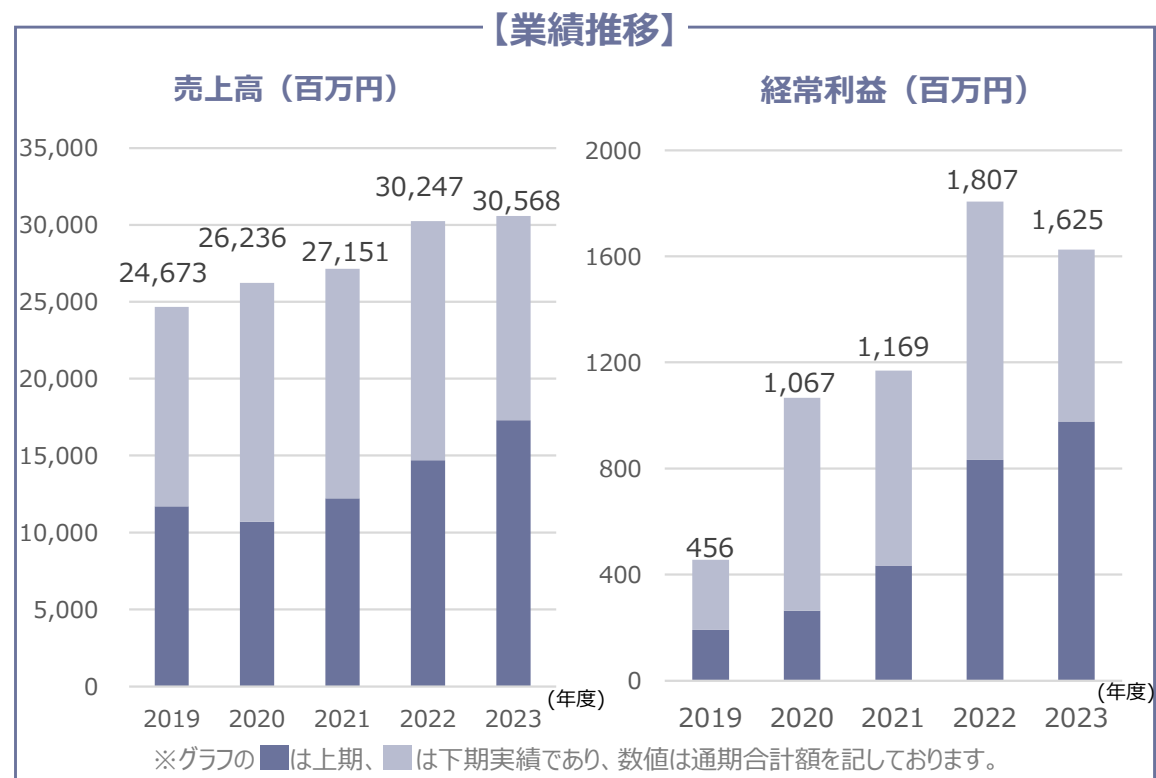
【主なポイント】

- 交通分野：車両改造案件の増加により車両機器が好調に推移し、無線通信機器が堅調に推移したことに加え、受変電設備も順調に推移し増加
- 社会システム分野：官公庁ビジネス案件が堅調に推移したことに加え、太陽光発電設備案件も増加

セグメント別の状況 4/4

情通・デバイス事業

	2022年度 (百万円)	2023年度 (百万円)	増減率 (%)
売上高	30,247	30,568	1.1
半導体・デバイス	20,430	19,335	▲5.4
情報通信	9,816	11,233	14.4
経常利益	1,807	1,625	▲10.1
経常利益率 (%)	6.0	5.3	—



【主なポイント】

- 半導体・デバイス分野：産業機器向けパワーデバイスは、在庫調整の影響を受けながらも前年並みで推移
電子デバイス品は、家庭用電気機器向けが低調に推移
データセンター向けHDD用ICは、需要減少により苦戦
- 情報通信分野：金融機関向け画像・映像機器が順調に推移したことに加え、電子医療装置の案件も増加し好調に推移し増加

BSの状況

【主なポイント】

- ◆ 〈流動資産〉 売掛債権の減少△1,275、未収入金△865、現金及び預金+1,708
- ◆ 〈流動負債〉 買掛債務の減少△2,363、短期借入金+702
- ◆ 〈純資産〉 配当金の支払1,078、その他包括利益+1,220

(単位：百万円)

	2023/3末	2024/3末	増減		2023/3末	2024/3末	増減
流動資産	68,815	68,404	▲411	流動負債	37,785	36,687	▲1,098
商品及び製品	11,370	11,294	▲75	固定負債	1,129	705	▲424
固定資産	14,479	17,192	2,713	負債合計	38,915	37,392	▲1,522
有形固定資産	8,541	8,584	43	株主資本	42,039	44,479	2,440
無形固定資産	1,281	3,083	1,801	その他	2,339	3,724	1,384
投資その他資産	4,655	5,524	868	純資産合計	44,379	48,204	3,824
資産合計	83,294	85,596	2,302	負債純資産合計	83,294	85,596	2,302

CFの状況

【主なポイント】

- ◆ 営業キャッシュフロー：税金等調整前当期純利益5,055、仕入債務の減少△2,607
売上債権及び契約資産の減少1,524
- ◆ 投資キャッシュフロー：連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出△1,026
無形固定資産の取得による支出△273
- ◆ 財務キャッシュフロー：配当金の支払△1,073

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	増減
営業キャッシュ・フロー	△348	3,809	4,158
投資キャッシュ・フロー	102	△731	△833
財務キャッシュ・フロー	△4,379	△977	3,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	291	211	△80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,333	2,311	6,645
現金及び現金同等物の期首残高	18,866	14,635	△4,230
現金及び現金同等物の期末残高	14,635	16,947	2,311

3. 中期経営計画『ES・C2025』の 取り組み状況

中期経営計画『ES・C2025』 基本方針

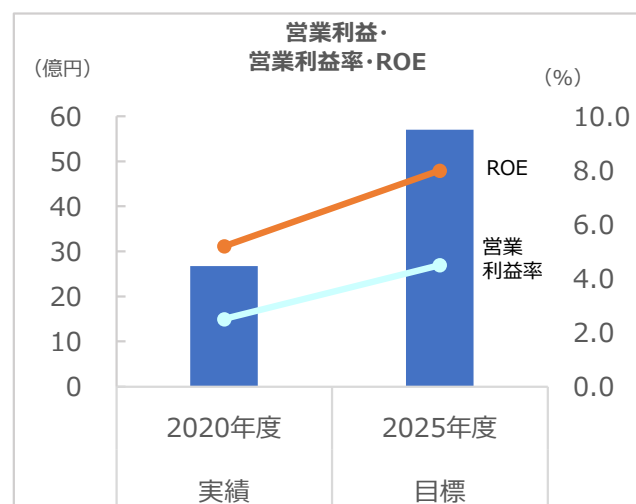
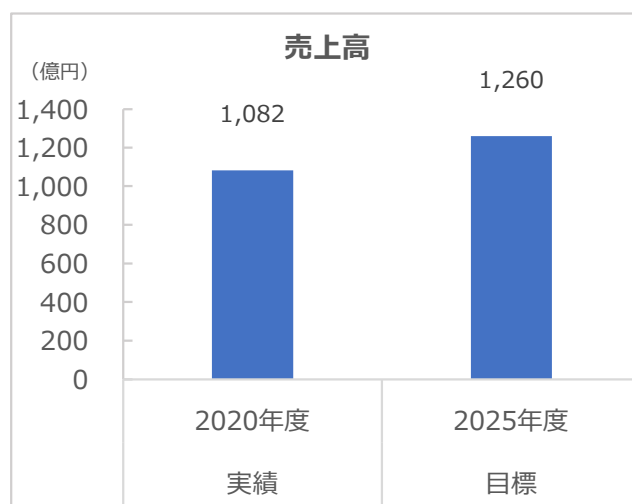
中期経営計画 Electronics Solutions・Company 2025 (2021年度～2025年度)

基本戦略

収益力と事業の継続性・事業基盤と成長力・信頼と信用

- ① 「深化・進化」による競争力の強化
- ② 社会課題の解決を図るため、今後も成長性が高い分野への取り組みを強化
- ③ カナデンDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ④ 多様な人材が能力を十分に発揮できる風土・仕組みづくり
- ⑤ 戦略的投資政策の実行
- ⑥ 公明正大な経営

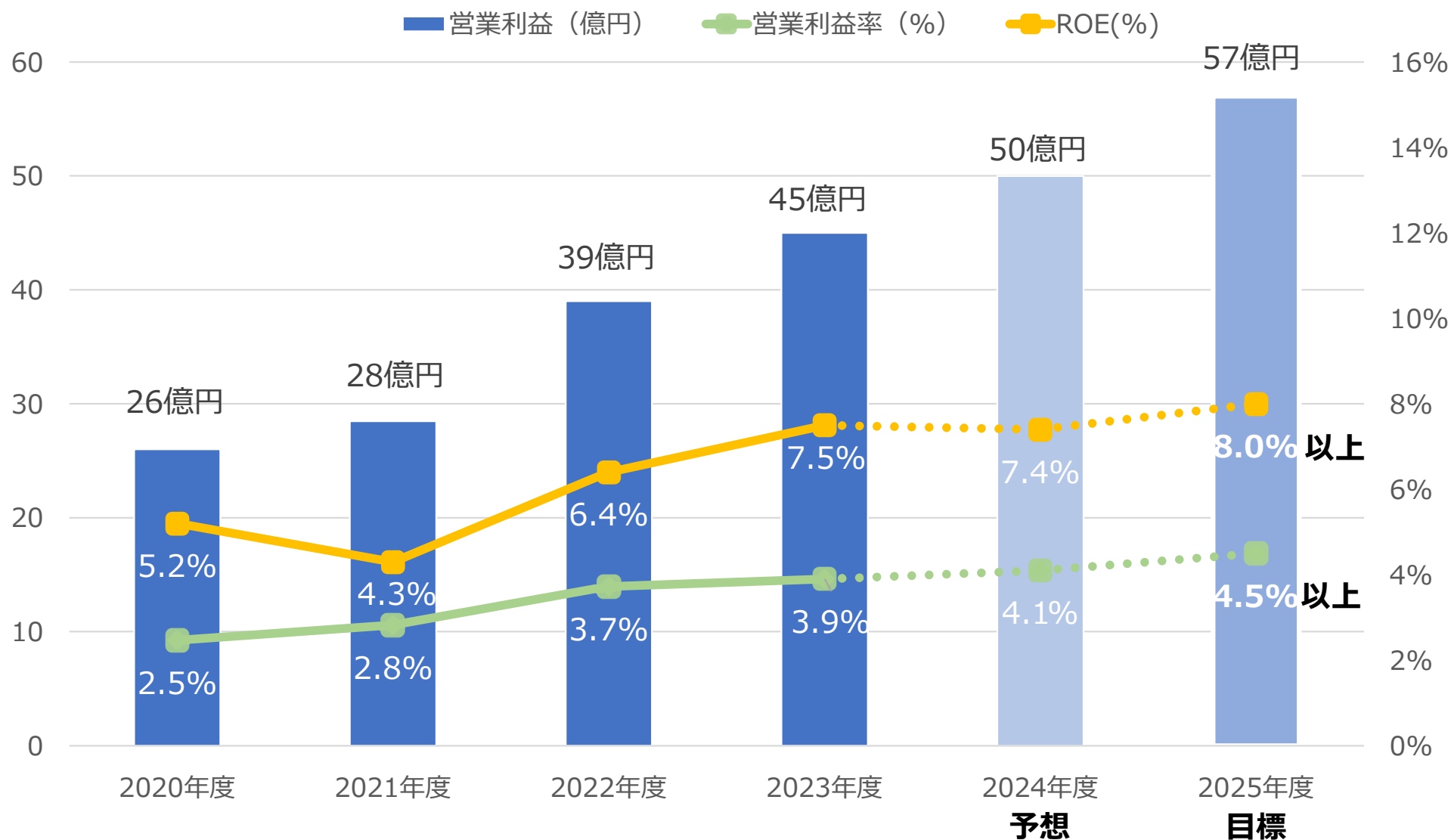
数値目標（最終年度）



- 営業利益 57億円
営業利益率 4.5%以上
- ROE 8.0%以上
- 戦略的投資等による、
売上高100億円の創出

中期経営計画『ES・C2025』数値目標の進捗状況

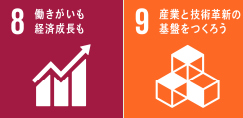
営業利益・営業利益率・ROEの推移



ES・C2025 基本戦略に基づく施策（セグメント別）

FAシステム

- ・**ソリューション提案力**を強化し、コンポーネントからソリューション、コンサルティングビジネスへの変革を図る。
- ・蓄積した製造現場の知見に加え、**AI・IoT**等の新技術の活用や**自動化**提案によりお客様の課題を解決し、ものづくりの進化に貢献する。
- ・**国内外でのシステム対応力**強化に向け、パートナー企業との連携強化を図る。



ビル設備

- ・ビルマネジメントシステムの展開とZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）提案の強化を図り、環境負荷の低いエネルギー利用の普及を促進し**快適性の向上**と**消費エネルギーの抑制**を両立させる。
- ・製品、システムの提案から工事、保守サービスを含め**一貫したソリューションの展開**強化。



インフラ

- ・社会インフラとしての「**安心・安全・快適**」を支え、進化させるという使命を果たし続けると共に、交通・公共分野におけるお客様のビジネスモデルの変革に対応し、**従来の領域にとらわれないソリューション**提案の拡大を図る。
- ・気候関連災害や自然災害に備える**監視・防災・減災**ソリューションの提供により社会や産業の基盤強化に貢献する。



情通・デバイス

- ・**医療・介護・健康**分野におけるデジタル技術を活用したソリューションの提供推進。
- ・セキュリティビジネスから**トータルICTビジネス**への進化デジタル分野への拡大。
- ・IoTデバイスの進化や5Gの導入による、**データの新たな活用**や**連携**方法を可能にする商材の発掘、ソリューションの構築を目指す。
- ・**自動車分野**への参入加速。



ES・C2025 基本戦略に関連するトピックス1/4

戦略的投資政策の実行：日本制御エンジニアリングを子会社化

- 技術力強化を目的にM&Aを実施し、ソリューションビジネスを加速
- 高いソフトウェア技術でIoT分野を中心にシナジー効果を発揮



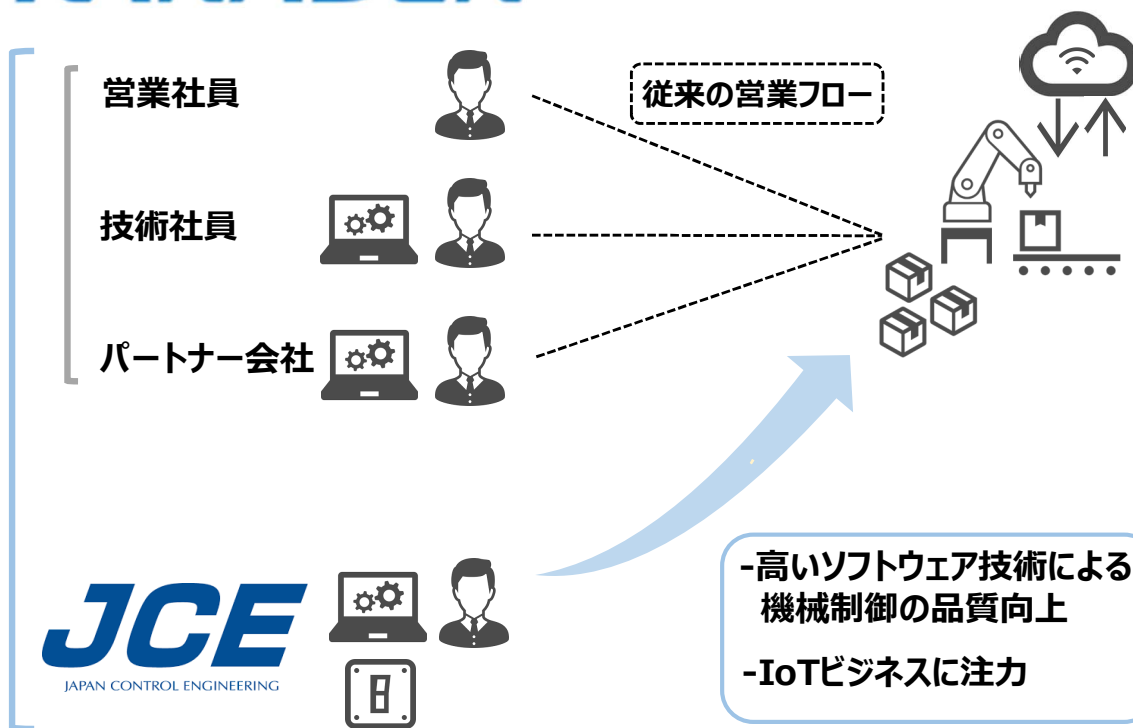
会社名 株式会社日本制御エンジニアリング

事業内容 電力系統制御システムを中心にした制御に特化したシステム開発

- ・高度な電力系統制御技術
- 強み
- ・鉄道電力制御システム技術
- ・有能な技術者が育つ環境

技術者数 約70名

ソリューションビジネス推進体制の増強



ES・C2025 基本戦略に関連するトピックス2/4

カナデンDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進：デジタルマーケティング強化

-インサイドセールス推進体制の増強：各種コンテンツの充実化により、見込み顧客数が増加



-補助金サポートサービス（2024年4月より開始）

補助金を切り口とした商談展開、見込み顧客獲得により、受注率向上を図る

補助金サポートサービス開始のお知らせ

当社では2024年3月より、補助金に関するサポートサービスを開始しました！

このようなお悩みはございませんか？

- どのような種類の補助金・助成金があるのかわからない・・・
- 手続きが難しそうで申請できない・・・
- 自社で補助金・助成金を申請してみたが通らなかった・・・



〈ポイント〉充実した支援体制

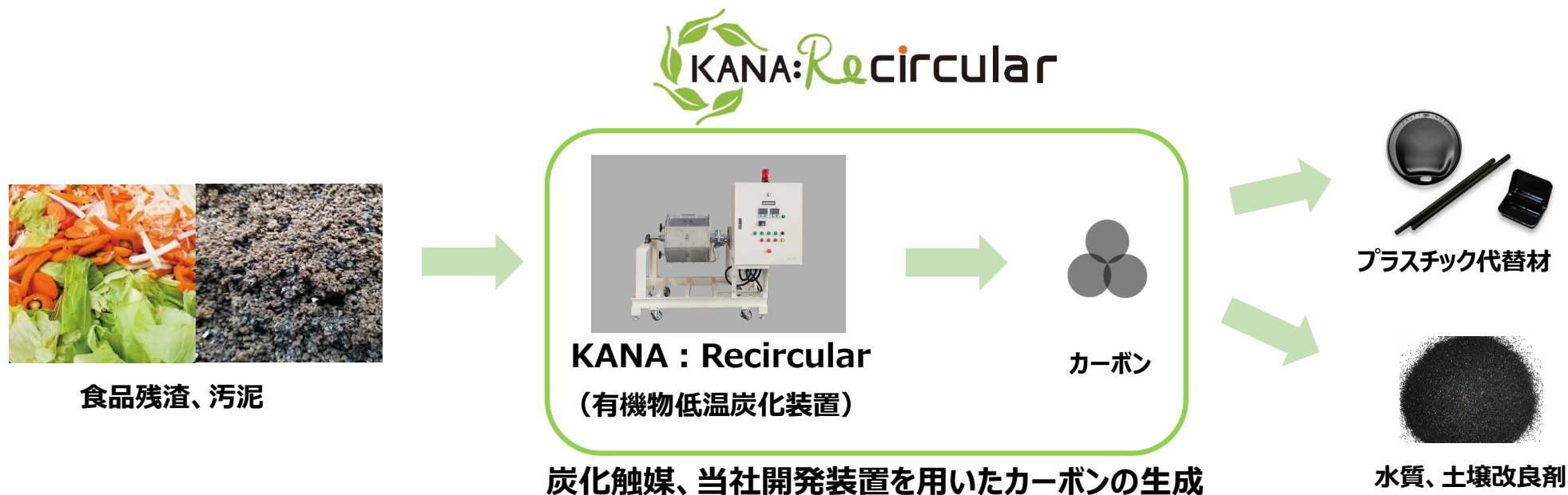
- 1 **カナデン補助金ヘルプデスク**
-補助金、助成金申請支援窓口
(無料相談)
- 2 **カナデン補助金検索システム**
-日本最大級の補助金・助成金データベース
- 3 **製品サイト 補助金情報公開**

ES・C2025 基本戦略に関連するトピックス3/4

社会課題の解決を図るため、今後も成長性が高い分野への取り組みを強化

⇒SDGs、環境ビジネス強化のため、「有機物低温装置による食品残渣再循環システム」を推進

-当社開発の「有機物低温炭化装置」と炭化触媒の力でサーキュラーエコノミーを実現



- 「2024 NEW環境展」へ出展

日程：5月22日（水）～24日（金）

会場：東京ビッグサイト（東5ホール）

展示内容：「有機物低温装置による食品残渣再循環システム」



ES・C2025 基本戦略に関連するトピックス4/4

深化・進化による競争力の強化：複合販売・部門間連携

-価値創造の最大化を図るため、社内ネットワークを活用したセグメント横断型ビジネスを推進

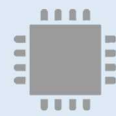
KANADEN

FA

ビル

インフラ

情通
デバイス



インフラ業界（鉄道事業者、官公庁等）の顧客

インフラセグメント が提供できる価値

- 車両用機器の納入、保守
- 太陽光発電機の納入
- 専門性の高い通信・電子応用機器の納入
- 防災・減災機器の納入

**1セグメントでは提供できる
価値に限界がある**



ALLカナデンが提供できる価値 インフラ業界の広範な事業領域へ参入



IoT技術を活かした
エネルギーの見える化提案



車両基地や商業施設等へ
空調機器・LED照明を導入



鉄道設備や点検保守業務へ
画像・映像ソリューションを提案

(インフラ×情通・デバイス)



連携ポイント

- SFA、コミュニケーション等による顧客情報の共有
- 商談、現場視察同行による課題発見

4. 持続的な企業価値向上に向けて

社会課題解決に向けた成長戦略

-SDGsへの取り組みを通じ、社会・環境問題の解決に貢献し、持続的な成長を実現

社会課題

労働人口の減少

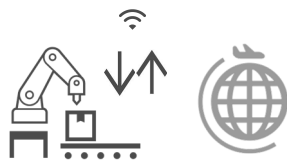
気候変動への対応

安心・安全な
社会インフラの維持

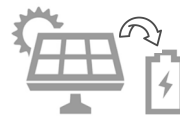
少子高齢化

成長戦略

SDGsへの取り組みを通じた成長戦略



- ・製造業へ自動化、IoT技術を活用したソリューションビジネスの推進
- ・海外ビジネスの強化 (ASEAN地域に注力)



- ・SDGs、環境負荷低減に向けたソリューションメニューの拡充
- ・サーキュラーエコノミーソリューションの推進



- ・安心・安全な社会インフラ構築に向けた鉄道事業者、官公庁 (自治体、警察、防衛省等) への基幹ビジネスの進化



- ・主力の医療装置を軸とした介護・ヘルスケア事業の拡大

成長戦略を実行するための投資

-効率的な資本投下により、成長戦略を実行するための事業基盤を強化

財務資本

人的資本

-拡充策

- ・プロフェッショナル人材の獲得
- ・教育と育成のさらなる充実
- ・人材と働き方の多様性の推進



投資額

10億円

知的資本

-拡充策

- ・情報の蓄積・活用によるDXの推進
- ・取引場やニーズの共有による効果的なソリューション提案
- ・新規ソリューションの開発



投資額

30億円

社会関係資本

-拡充策

- ・M&Aによる新技術の獲得
- ・サプライチェーンの拡充による新技術獲得・安定供給の実現
- ・顧客ポートフォリオの多様化による収益基盤の安定性強化



投資額

50億円

4. 2025年3月期 業績・配当予想

2025年3月期 業績予想

	2024/3期 【実績】 (百万円)	2025/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	116,271	122,000	4.9%
営業利益	4,544	5,050	11.1%
経常利益	4,994	5,100	2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,474	3,600	3.6%

2025年3月期 セグメント別予想

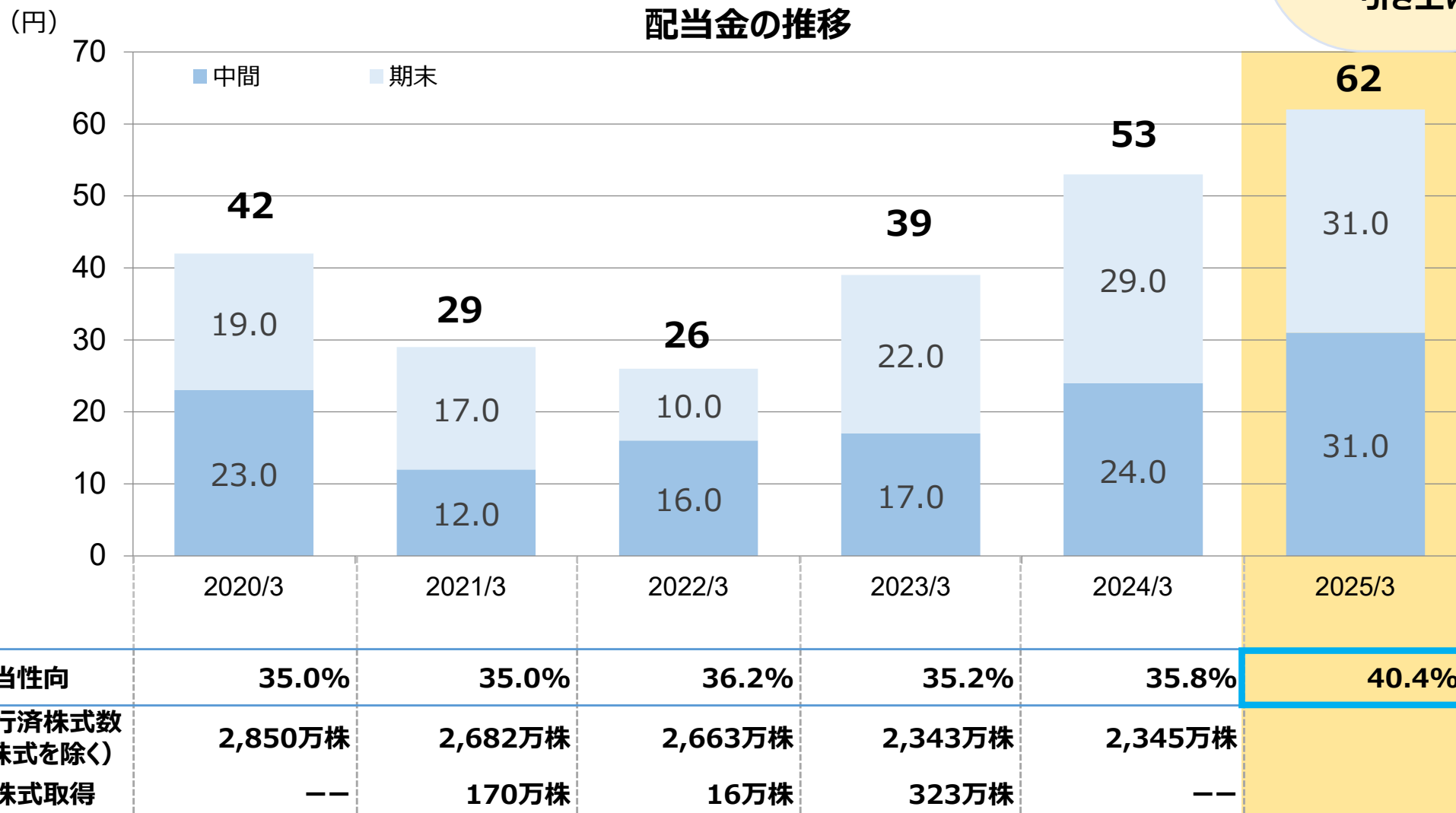
		2024/3期 【実績】 (百万円)	2025/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)
FAシステム	売上高	46,890	50,000	6.6%
	経常利益	2,813	3,150	12.0%
	自動化・脱炭素化需要が堅調に推移			
ビル設備	売上高	14,933	17,000	13.8%
	経常利益	223	250	11.9%
	空調・冷熱機器の需要回復と電源設備案件の取り込み			
インフラ	売上高	23,878	24,000	0.5%
	経常利益	111	200	79.7%
	設備更新需要の継続			
情通・デバイス	売上高	30,568	31,000	1.4%
	経常利益	1,625	1,450	△10.8%
	年度後半には在庫調整の局面から脱した回復を見込む			

配当予想及び株主還元について

配当方針

堅実性と成長性を併せ持った「健全経営」を確実に推し進めていくため、将来の事業展開と企業体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ**配当性向40%**を基準指標に安定した配当の維持継続に努める

基準指標である
配当性向を
35%から40%へ
引き上げ



Electronics Solutions Company

KANADEN